

大好き！絵本

初瀬 恵美



『みんなともだち』
文：中川 ひろたか
絵：村上 康成
出版社：童心社

3月に入り、年長さんたちと過ごすのも残りわずかとなりました。熊本地震がおきた年度に生まれ、年少さんのときから新型コロナウイルスの流行を経験してきた子ども達。登園自粛の時があったり、行事も無観客から少しづつ有観客へと形を変えてきたという大きな変化の時期を過ごしました。私たち職員は迷いの中、その時々最善を模索する時期となりましたが、どんなときも子どもたちの明るい元気な声や笑顔が支えだったように思います。そして、その子どもたちがいよいよ卒園となります。園長のギターにあわせて、卒園式ソングを歌っていたり、遊びながら、卒園式ソングを口ずさんでいるのをきくと、卒園が間近であることをひしひしと感じ、寂しくなります。

前置きがとても長くなりましたが、今月はそんな卒園式ソングのひとつである「みんなともだち」(作詞・作曲 中川ひろたか)を絵本にした『みんなともだち』をご紹介しますと思います。

みんなともだち ずっとずっと ともだち がっこういっても ずっとともだち
みんなともだち ずっとずっと ともだち おとなになっても ずっとともだち

こうして始まり、こうして終わるこの歌。歌の途中には
みんないっしょにー うたをうたった みんないっしょにー えーを一かいた ..略..
と思い出が並べられています。

保育園から次のステップの「学校」へ巣立つ子ども達。わずか10人の年長さんですが、卒園後に違う小学校へ通うお子さんもいます。寂しいですね。毎日夕方になると「バイバイ～。また明日ね～！！」という元気な声が響いていましたが、もうすぐ始まる違う「明日」を思うと胸が苦しくなります。そんなとき、これから先も「ずっと ずっと ともだち」でいたいね、いようね「おとなになっても ずっとともだち」だよと、まるで心の声か歌詞になっているこの歌に、私は心が支えられる気がします。その素敵な歌に村上さんのかわいい絵が添えられて、絵本が仕上がっています。

心から、笑ったり、泣いたり、喧嘩したり、仲直りして遊んできたともだちが、これからの人生において、かけがえのない「ともだち」になりますように…。ちょっと寂しくなったらこの絵本と共に歌も聞いていただけたらと思います。



お誕生日 おめでとう

